

耳原総合病院 ヘルニア外来

鼠径ヘルニア

恥ずかしがらずに 気軽に受診を

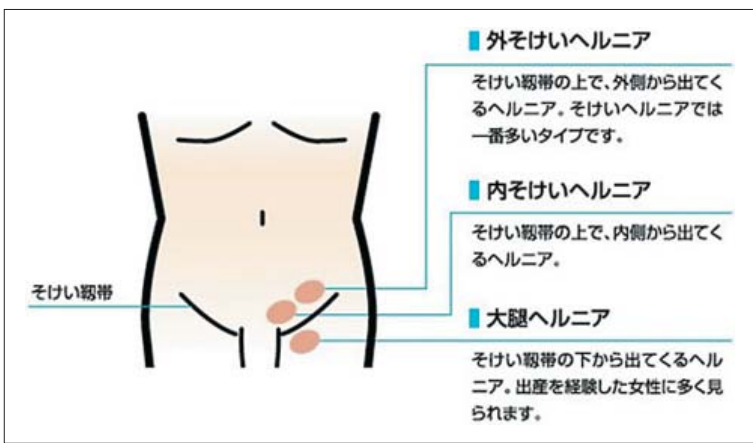
鼠径ヘルニア、いわゆる「脱腸」。子供さんにも多く、大人にも多い状態です。男の人だけでなく、女性にもよくあります。日本全国で年間約16万件の手術件数があります。できる場所は図のような位置に



耳原総合病院外科部長
山口拓也 医師

「こいつと、下腹の筋肉の壁にできた穴から腹膜とともに小腸などのお腹の臓器がでてきます。なかには虫垂や卵巣などといった特殊な臓器もとびだすことがあります。」

「困ったことに突然こいつた臓器が戻らなくなることがあり、痛みや不快感におそれ病院に駆け込まれる患者さんもいらっしゃいます。このときは我々も緊急対応に追われます。」



「外そけいヘルニア
そけい靭帯の上で、外側から出てくるヘルニア。そけいヘルニアでは一番多いタイプです。」

「内そけいヘルニア
そけい靭帯の上で、内側から出てくるヘルニア。」

「大腿ヘルニア
そけい靭帯の下から出てくるヘルニア。出産を経験した女性に多く見られます。」

「とを常々考えています。当院ではヘルニアの穴を小さくするために柔らかいメッシュを適切な位置に、確認しながら固定し、かつ創の大きさも従来の方法と比較して小さい腹腔鏡下ヘルニア修復術を選択しています。麻酔科との協力のもと、痛みが少なく、すぐに日常生活に戻れる方法としても最適と考えています。」

耳原総合病院ヘルニア外来

TEL 072-241-0324
FAX 072-241-0208
http://www.mimihara.or.jp/sogo/

「心当たりのある方は一度受診していただければ、最適な方法をご提案できると思います。」



「無料低額診療が最初に適用されたAさんから突然電話があったのは5年前。「会って報告したいことがあるんです」その時のAさんの声は弾んでいました。Aさんは、全日本民医連新聞11月号に掲載された事例の方です。」

「当時のAさんは、当院に入院友達の家に身を寄せ、そこで急な病気になるに当院への入院となりました。」

「生きる意欲をなくしていたAさんですが、他の入院患者さんに背中を押され、入院4日目に相談室にいられました。」

「相談中も「お金もないし、帰る家もない」と涙をためた眼で首をかき上げるばかりのAさん。治療費は無低診で何とかなるといつか、まずは病気を治そう、と話すと徐々に落ち着いてくるように。」

「示されていきました。果たしてAさんはお酒を断ち、生活の再生を迎えることが出来るのだろうかという思いがありました。退院後積極的にアルコール外れや断酒会、デイケアにも出かけるように。」

「一歩ずつ自分が楽しめる事も見つけ、仲間を見つければ、仲間を支えられる実感をもたれました。「一年断酒を継続できたので、メダルを貰いました。みんなで祝って貰えました。」

「治療終了後アルコールは止め、そのための治療もすると話される一方で、強い孤独感、落ち着けない苛立ちといったものも5年前の電話は、娘さんと再会できたこと、これから先もお酒を飲まないこと誓っていること、耳原総合病院に入院していただき暗闇の中で何をどうしていいかわからなかった。どんな底の中で助けてもらったから、きちんと報告しておきたかったです。」

「無低診が社会復帰の転機に」

「仲間を見つければ、仲間を支えられる実感をもたれました。」

「今も、自身の状況を報告してくださるAさんの姿は、無料低額診療を通じての援助が、困難な状況の患者さんの転機につながった、という私たちの理念への確信です。」

「無低診が社会復帰の転機に」

「無低診が社会復帰の転機に」

「無低診が社会復帰の転機に」

これからも安心して暮らしたい このまちで 堺・介護1万人アピール運動に取り組んでいます

「来年度から国による介護保険制度が大改悪されます。要支援者の訪問介護・通所介護が縮小され、地方へ丸投げされてしまいます。これでは多くの「介護難民」を生み出しかねないと、多くの市民が賛同できるようアピール運動をスタートしました。」

「幅広く呼びかけ人を依頼し、実行委員会の結成を呼び掛けるために学習をかねた集いを6月に開催。堺市を動かすための世論づくりのために1万人という賛同者数についても議論を経て決定しました。最初は、本当に1万人集められるだろうか、新聞の意見広告の費用約100万円も作れるだろうかと不安でしたが、徐々に事務局体制を整えながら本格的な取り組みに発展。意見広告は、11月13日付の朝日新聞に掲載されました。アピール賛同者は、現在8000を超え、目標1万人に近づき勢い広がっています。」

「11月11日「介護の日」には、介護現場で働く人を中心に約60名を超える人が集まり、堺駅前前で大宣伝ができました。堺市は、本格的な実施時期を明確にしています。だからこそ今回のアピール運動を広げていくことが大切だと思っております。多くの方のご協力をお願いします。」

「連絡先 堺・介護1万人アピール 実行委員会 072-244-8006-1」



堺駅前